

## 子ども学研究科修士論文審査基準

### 1. 基本要件

(1) 修士の学位を受ける者は、中国学園大学大学院子ども学研究科ディプロマ・ポリシーが求める学力、能力、資質を満たすと認められる必要がある。修士論文は、これらの能力を修得したことを、明瞭かつ平明な文章で示すものでなければならない。

(2) 修士論文は、申請者自身の単著とし、本人以外の論文ないし研究発表の独自性やアイデアを侵害する箇所を含んではならない。

(3) 修士論文は、著作権、肖像権その他の本人以外の権利を侵害してはならない。

(4) 修士論文は、研究内容が中国学園大学倫理委員会で承認され、適正に行われた研究に基づき作成されたものでなければならない。

### 2. 論文の構成

修士論文は、次の要件を満たす構成とする。

(1) 論文の題目が適切であること。

(2) 研究の背景が記述され、研究目的が明確であること。

(3) 研究方法が記述されており、目的に沿った方法であること。

(4) 目的に対応して結論が適切に導き出されていること。

(5) 引用文献が適切に用いられていること。

(6) 前項までの内容が、適切な章立てにより不足なく含まれていること。

### 3. 内容

修士論文の内容は、次のような点において評価する。ただし、どの項目を重視するか、さらにどのような項目を追加するかなどは、審査委員会に一任される。

(1) 専攻分野において一定程度の学術的価値を有する。

(2) テーマの選択や研究方法が適切である。

(3) 先行研究を着実に踏まえて研究が行われている。

(4) 設定したテーマと研究方法に従ってデータ・資史料などを的確に収集・処理している。

(5) 既存の研究に対して新たな事実の発見や独創的な分析、解釈、提案等を行っている。

(6) 論旨が明快で、しっかりした論理展開がみられる。

(7) 適切な文章表現による論述が行われており、高いレベルで完結性を有する。

### 4. 評価

「A:秀」学位論文審査基準のいずれの項目をも満たし、さらに、いくつかの項目においては非常に優れていると認められる論文。

「B:優」学位論文審査基準のいずれの項目をも満たし、優れていると認められる論文

「C:良」学位論文審査基準のほとんどの項目を満たしているが、若干の改善すべきところがあると認められる論文。

「D:可」学位論文審査基準の多くの項目を満たしているが、改善すべきところがあると認められる論文。

「F:不可」学位論文審査基準の多くの項目を満たしていない論文なお、「研究倫理」に重大な違反が認められる論文は、他の審査基準を満たしている程度にかかわらず単位認定しない。

この審査基準は令和5年5月16日から施行する。